

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和5年(2023年)10月 臨時号

なごや子ども市会 特集号

名古屋市では、市内に在住・在学している小学5・6年生が、自分たちの住むまちの議会という身近な場で実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めることを目的とした、「なごや 子ども市会」を4年ぶりに開催しました。

今回の臨時号では、「なごや 子ども市会」の様子を紹介します。

なごや 子ども市会 メインテーマ

大好きな名古屋を笑顔があふれるまちにしよう
～届け、わたしたちの思い～



7月29日の子ども市会の様子



7月24日(午前の部)の子ども市会の様子

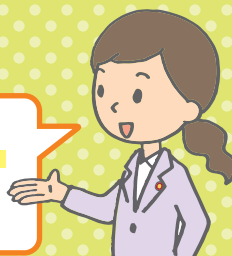


7月24日(午後の部)の子ども市会の様子



Q 名古屋市会って何だろう？

A 私たちが住む名古屋市を暮らしやすいまちにするために、市民の代表者として議員が話し合いをすることを「議会」といい、名古屋市では「名古屋市会」と呼ばれています。



Q 名古屋市の市会議員って、どんなお仕事をしているの？

A 皆さんが住む名古屋市が暮らしやすいまちになるよう、選挙で選ばれた市民の代表として活動するのが市会議員です。

市会議員の大きな仕事の一つは、市民から出された意見や要望を聞き、「条例」(市民のみなさんに守ってもらうルール)や「予算」(市のお金の使い方)について、名古屋市会で話し合いを行って、賛成なのか反対なのかを決めていくことです。

また、市の仕事が正しく行われているかチェックしたり、市だけでは解決できない問題について、県や国に働きかけを行ったりもしています。



一方、市長は、市の仕事を行う責任者として、名古屋市の決定に沿って仕事を進めています。名古屋市会と市長の両方が、それぞれしっかりと役割を果たすことで、よりよい名古屋のまちが実現できる仕組みになっています。



開会 あいさつ

はじめに、名古屋市会の成田たかゆき議長から歓迎のあいさつがありました。その後、長谷川由美子副議長から議会の役割などについて説明がありました。



成田たかゆき議長



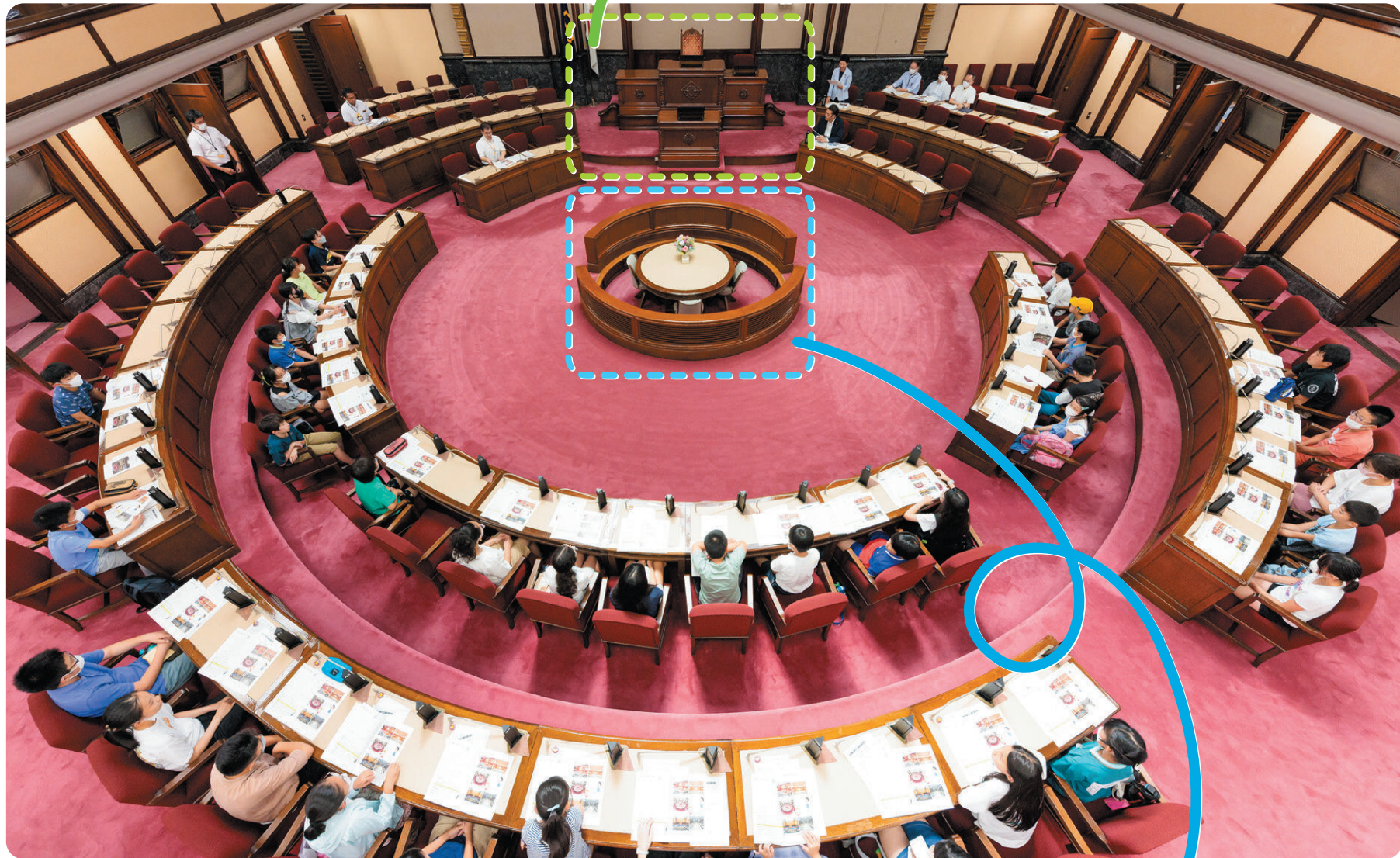
長谷川由美子副議長

本会議場(議場)

議員が全員集まる会議を「本会議」といいます。本会議では、市民のために市が何をするかを話し合い、最終的な決定を行います。本会議場は「話し合いが丸くすむように」という思いを込めて、全国でも珍しい丸い形にしたいとされています。



議場見学では、「議長席」に座ったり、議員が質問する「演壇」に立ったりしました。



格天井の写真

議場の天井は、格天井といって、名古屋城の本丸御殿でも使われている立派な造りになっています。



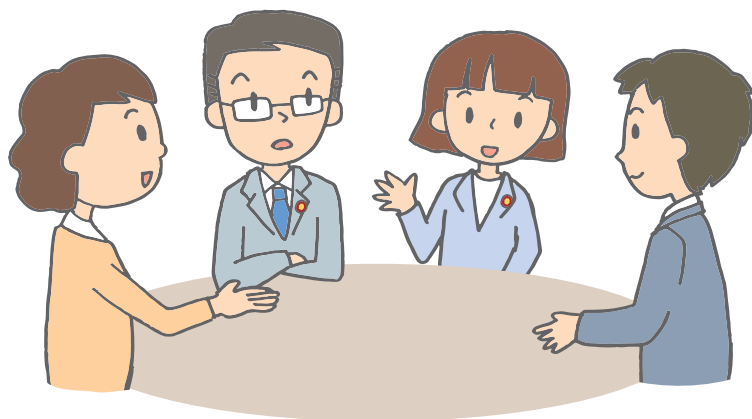
議場で話し合われた内容を記録する「速記者」の席です。文字が書きやすいよう、角度がついた特殊なものになっています。

委員会室

名古屋市には、とても多くの仕事があるので、本会議ですべてを話し合うことはできません。そこで、少人数でくわしく話し合う場所として「委員会」がつけられています。

名古屋市には、6つの常任委員会があって、すべての議員がどこかの委員会に所属して、それぞれ専門的に話し合いを行っています。

この他、特に必要な問題を調査するために設置した「特別委員会」や、名古屋市の運営方法を話し合う「議会運営委員会」があります。



委員会室について説明を聞いて、見学しました。



委員会室の見学の様子



議会運営委員会室の見学の様子

議長室

議長室の見学では、名古屋市の姉妹友好都市などについて、議長から説明を聞きました。

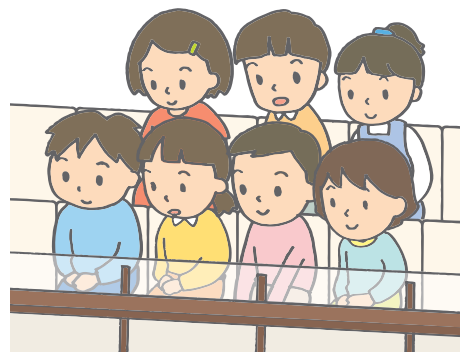


大切なお客様をお招きする正副議長応接室について、副議長から説明を聞きました。

本会議や委員会の話し合いを聞くことはできるの？

A 本会議と委員会の様子は、だれでも見たり聴いたりすることができます。これを「傍聴」といいます。

また、本会議と委員会の様子は、インターネットで生中継や録画中継を見ることができます。



インターネットの本会議・委員会
中継

市議会(議決機関)の役割と市役所(執行機関)の役割について学びました

「なごや 子ども市会」では、議会についての話だけではなく、教育委員会の職員さんから市役所の役割や教育委員会の取り組みなどについて説明がありました。

市役所はさまざまな仕事を行っているため、多くの部署があります。教育委員会もその1つであり、議会において決まった条例(市民のみなさんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などに基づいて、新しい学校をつくったり、学校で使うタブレットなどの教材を用意したりしています。

このように、条例や予算を話し合っ

て決める議会のことを「議決機関」と、議会において決まった条例や予算などに基づいて実際に行動するための部署を「執行機関」と言います。



教育委員会の職員さんから市役所の役割などを聞きました

新しい学校ができるまで

市議会(議決機関)

“名古屋市に新しい学校をつくる”ために、市長から提案された条例と予算を決めます。

市役所(執行機関)

教育委員会は、議会で決まった条例と予算に基づいて、新しい学校を作るために必要なことを行います。



陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

「なごや 子ども市会」では、議長から岩手県陸前高田市と名古屋市との交流について説明がありました。

陸前高田市は、2011年(平成23年)3月11日に発生した巨大な地震(東日本大震災)で大きな被害を受けました。そこで、名古屋市の職員が陸前高田市に行き、まちづくりのお手伝いをする事になり、それをきっかけとして、さまざまな分野での交流が行われるようになりました。名古屋市会でも、2018年(平成30年)に陸前高田市議会と「友好交流協定」を結んでいます。

「なごや 子ども市会」でも、2013年(平成25年)に、陸前高田市の小学生が子ども市会本会議に参加し、「なごや 子ども市会」の子ども議員とともに「名古屋市と陸前高田市の子どもたちとの交流に関する宣言」を行いました。また、2014年(平成26年)から2019年(令和元年)にかけて、陸前高田市の小学校へメッセージを書いて送付するなどの交流を行っています。



陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

◀陸前高田市の小学生と「なごや 子ども市会」の子ども議員が宣言(2013年(平成25年))

「なごや 子ども市会」に参加した皆さんからの感想と議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

「なごや 子ども市会」に参加した皆さんからいただいた感想やアイデアの一部を紹介します。

- 議会や市役所の仕事などについていろんな人にもっと知ってもらったら良いと思います。
- 名古屋のことを知れるような機会がもっとほしい。
- また、なごや子ども市会をやってほしい。
- 陸前高田市と名古屋市に交流があることを知らなかったの、知ることができてよかった。今後、もし、議員になれたら、陸前高田市と協力してよりよいまちづくりをしていきたい。
- 違う地域に住んでいる方のために色々な支援をしていて、すごいと思いました。助け合いが大事だと感じました。
- 陸前高田市と名古屋市の交流についての説明を聞いて、1本だけ残っていた「奇跡の一本松」が東山動植物園に贈られたことがわかったので、東山動植物園は家から近いので見てみたいと思いました。



議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

子ども議員の皆さん、4年ぶりとなる子ども市会へのご参加、ありがとうございました。

子ども市会で、名古屋市が行っている仕事や名古屋市の役割、陸前高田市との交流について大いに学ばれたことだと思います。これからの名古屋市を支えていくのは、子ども議員の皆さんをはじめとする若い皆さんです。名古屋市をどうしたら快適で、安全で、住みやすいまちにできるのかを考えてもらうきっかけになれば、大変うれしく思います。

そして、子ども議員の皆さんからは、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアや陸前高田市と名古屋市の交流についての感想などをたくさんいただきました。皆さんからいただいた気持ちのこもった素晴らしい意見を、今後の市政に生かし、名古屋市をもっといいまちにしていきたいと思っています。ありがとうございました。